

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-II-4

4-II
-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	バリアフリー機能の導入
	節	II. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	4 バリアフリー機能の導入		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課、佐渡地域振興局企画振興部
事業実施期間	H28～H31			
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種施設や説明媒体におけるバリアフリー機能の導入により、様々な来訪者への利便性向上を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明媒体に点字や音声ソフトなどのバリアフリー機能を導入する。 			
事業実績	<p>【事業成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡金銀山の関連施設における導入については、ガイダンス施設整備の専門家会議において、ガイダンス機能全般の論議を行い、そのなかでバリアフリー機能の導入について議論した。 			
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 佐渡市の公共施設も含め、バリアフリー機能の導入については協議が必要である。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ガイダンス施設整備の専門家会議において引き続きガイダンス機能の議論を行うとともに、佐渡市の公共施設の管理者も交えた協議を進める。 			
事業評価	<p>【事業の達成度】</p> <p>[a ・ (b) ・ c]</p> <p>【事業実施の効果】</p> <p>[a ・ (b) ・ c]</p> <p>【総合評価】</p> <p>[A ・ (B) ・ C]</p> <p>◇ H28については、ガイダンス施設整備の専門家会議において佐渡金銀山に関連する施設等のバリアフリー機能について協議を行った。</p>			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。